

平成29年 6月 5日

環境測定分析実施機関 各位

川崎市川崎区四谷上町10-6  
一般財団法人日本環境衛生センター  
理事長 南川 秀樹

平成29年度環境測定分析統一精度管理調査（環境省主催）に係る参加申し込みについて

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

当所の業務につきましては、平素より格別の御高配を賜り、深謝いたしております。

さて、当所では、これまで環境省からの請負による環境測定分析統一精度管理調査を実施しており、本年度においても引き続き同調査を実施しております。

本年度の調査に関しては、基本精度管理調査として、模擬排水試料の一般項目（COD、BOD、ふっ素、ほう素及びTOC）及び模擬排ガス試料（窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）及び硫黄酸化物（SO<sub>x</sub>））を対象とします。高等精度管理調査としては水質試料中の揮発性有機化合物（詳細項目として1,1-ジクロロエチレン、ジクロロメタン、トランス-1,2-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、四塩化炭素及び1,2-ジクロロエタンの6項目、参照項目として1,1,1-トリクロロエタン、ベンゼン、トリクロロエチレン、1,2-ジクロロプロパン、1,4-ジオキサン、1,1,2-トリクロロエタン及びテトラクロロエチレンの7項目）を対象とします。本調査に関する詳細は、本調査のホームページ(<http://www.env.go.jp/air/tech/seidokanri/index.html>)をご覧ください。

今年度調査に基づく参加申込要領を御案内いたしますので、従来と変わらぬ本調査へのご協力を賜りたくお願い申し上げます。

本件担当

環境科学部 鹿島、佐々木

電話 044-287-0766

平成29年度環境測定分析統一精度管理調査の参加申込要領  
(民間、大学、独立行政法人等)

1. 調査試料

| 区分     | 名称                      | 容器<br>(内容量)           | 個数 | 備考       |
|--------|-------------------------|-----------------------|----|----------|
| 共通試料 1 | 模擬排水試料<br>(一般項目分析用)     | ポリエチレン瓶<br>(約1000 mL) | 1  | 水溶液      |
| 共通試料 2 | 模擬排ガス試料<br>(窒素酸化物等分析用)  | プッシュ缶<br>(約7L)        | 1  | 窒素ベースのガス |
| 共通試料 3 | 模擬水質試料<br>(揮発性有機化合物分析用) | ガラス瓶<br>(約267 mL)     | 1  | 水溶液      |

2. 分析項目

(1) 基本精度管理調査

a. 模擬排水試料(一般項目分析用)

試料中の一般項目 5 項目 (COD、BOD、ふっ素、ほう素及びTOC) を測定対象とする。  
参加機関は最低 1 項目以上を選択し、分析を行う。

b. 模擬排ガス試料 (窒素酸化物等分析用)

試料中の窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>) 及び硫黄酸化物 (SO<sub>x</sub>) を測定対象とする。  
参加機関は最低 1 項目以上を選択し、分析を行う。

(3) 高等精度管理調査

・ 模擬水質試料 (揮発性有機化合物分析用)

試料中の1, 1-ジクロロエチレン、ジクロロメタン、トランス-1, 2-ジクロロエチレン、シス-1, 2-ジクロロエチレン、四塩化炭素及び1, 2-ジクロロエタンの6項目を測定対象 (詳細項目) とする。

なお、1, 1, 1-トリクロロエタン、ベンゼン、トリクロロエチレン、1, 2-ジクロロプロパン、1, 4-ジオキサン、1, 1, 2-トリクロロエタン及びテトラクロロエチレンの7項目については、参照項目として測定対象とする (参照項目の分析条件等については、詳細な調査は実施せず、分析結果の報告のみとする) 。

参加機関は最低 1 項目以上の詳細項目を選択し、分析を行う。

3. 分析方法

(1) 模擬排水試料(一般項目分析用)

「排水基準を定める省令の規定に基づく環境大臣が定める排水基準に係る検定方法」 (平成49年環境省告示第64号) に定める方法により分析する。ただし、TOCについてはJIS K 0102 (工場排水試験方法) に定める方法 (項目により異なりますが、滴定法、吸光光度法、イオン電極法等となります) により分析する。

(2) 模擬排ガス試料 (窒素酸化物等分析用)

ガス試料中のNO<sub>x</sub>は「JIS K 0104 (排ガス中の窒素酸化物分析方法)」、SO<sub>x</sub>については「JIS K 0103 (排ガス中の硫黄酸化物分析方法)」に定める方法 (項目により異なりますが、イオンクロマトグラフ法、吸光光度法又は滴定法等となります) により分析する。

(3) 模擬水質試料(揮発性有機化合物分析用)

「水質汚濁に係る環境基準について」 (昭和46年環境庁告示第59号。以下、「水質環境基準告示」という) 又は「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」 (平成9年環境庁告示第10号。以下、「地下水環境基準告示」) に定める方法により分析する。

#### 4. 試料の配布時期及び分析結果の報告期限

##### (1) 配布時期（予定）

7月下旬

配布日の詳細が固まり次第、ホームページでお知らせ致します。

##### (2) 報告期限（予定）

8月下旬～9月上旬

ただし、分析結果報告の方法（ホームページ又は用紙による報告）により報告期限が異なります。用紙による報告の場合、ホームページによる報告に比べて期限が1週間程度早くなります。

##### (3) 調査結果の報告（公開等）

- ・全体の中間報告は10月中～下旬頃を予定しています。
- ・分析結果を報告いただいた機関には、年度末（時期未定）に「調査結果報告書」（環境省編）を送付予定としています。

#### 5. 申込方法

申し込み方法には「郵送による方法」、「ホームページによる方法」があります。

「郵送による方法」は、別紙参加申込書に記入の上、期限までに下記(2)申込先へ送付ください。

「ホームページによる方法」は、平成25年度から平成28年度に本調査へ参加頂いた機関におきましては、ホームページ「<http://www.env.go.jp/air/tech/seidokanri/index.html>」にアクセスし、トップページ中の「調査参加機関ログイン」を選択するとログイン画面が表示されます。「機関コード」、「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックすると参加申込の画面が表示されますので、期限までに入力してください。平成25年度から平成28年度の期間に本調査へ参加しなかった機関及び参加したが「機関コード」、「パスワード」を忘れしまった機関におかれましては、ホームページによる申し込みはできませんので「郵送による方法」でお申し込み下さい（注）。

なお、電話、ファックスによる申し込みはご容赦ください。また、調製する共通試料には数に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

（注）今年度の参加申し込み機関の「機関コード」、「パスワード」は、試料の送付（配布）時にお知らせしますので、「郵送による方法」でお申し込み頂いた機関におかれましても、分析結果報告等はホームページからの報告が可能となります。

(1) 申込期限 平成29年7月5日（水）（必着）

(2) 申込先 〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町10-6  
一般財団法人日本環境衛生センター  
環境科学部 鹿島、佐々木  
TEL 044-287-0766

### (3) 参加の区分及び費用（税込み）

| 区分             |                | 費用                  |                          |
|----------------|----------------|---------------------|--------------------------|
| 共通試料 1         |                | 20,000円             | 共通試料 1～3 合わせて<br>57,000円 |
| 共通試料 2         |                | 20,000円             |                          |
| 共通試料 3         |                | 20,000円             |                          |
| 分析結果の<br>報告の方法 | ホームページ<br>にて報告 | 増額なし                |                          |
|                | 用紙にて<br>報告     | 共通試料毎に<br>各1,000円増額 |                          |

### (4) 参加の費用のお支払方法

参加の費用については、試料と共に振込先を明示した請求書を送付しますので、試料受取後1か月程度にお振込みください。

## 6. その他

### (1) 参加機関の要件

本調査に参加できる機関は、実際に分析等を実施している機関であり、国内の他機関へ委託して実施している機関は参加できませんので、ご了承ください。

### (2) 分析結果の公表

各機関の分析結果等（分析条件別の回答数や平均値・室間精度等の統計量の算出根拠として該当するデータ、分析条件を〇〇とした回答が多い等の文章表現も含む）を公表（結果と機関名が対比できる表等を作成の上、公表）しますので、参加申込をいただいた機関については、その旨をご了承いただいたものとして、処理させていただきます。

### (3) 極端な分析結果

極端な分析結果（外れ値等）を報告された場合には、その原因究明のためのアンケート調査を実施しますので、ご了承ください。

### (4) ホームページによる分析結果報告の作成

環境測定分析統一精度管理調査ホームページを公開し、本調査に関する情報等を閲覧することができます（<http://www.env.go.jp/air/tech/seidokanri/index.html>）。

参加機関は、当ホームページから分析結果報告を報告し、用紙による報告は必要ありません。ホームページによることが難しい機関のみ用紙による報告とします。なお、用紙による報告の場合、ホームページによる報告期限に比べて一週間程度早くなります。

# 平成29年度環境測定分析統一精度管理調査に係る参加申込書

(民間、大学、独立行政法人等)

|  |   |                       |
|--|---|-----------------------|
| 機関名                                      |   |                       |
| 機関コード                                    | (わかれば記入してください)  |                       |
| 所在地                                      | 〒   |                       |
| 試料の送付先                                   | 〒 (上記所在地と試料の送付先が異なる場合)  |                       |
| 担当者                                      | 所属  | TEL: ( ) -            |
|  | 氏名  | FAX: ( ) -<br>E-mail: |
| 希望する試料及び結果の報告方法(数字及び分析結果報告の方法を○で囲んでください) | 1. 共通試料1 (ホームページ、用紙) (注)<br>(模擬排水試料：一般項目分析用)<br>2. 共通試料2 (ホームページ、用紙) (注)<br>(模擬排ガス試料：窒素酸化物等分析用)<br>3. 共通試料3 (ホームページ、用紙) (注)<br>(模擬水質試料：揮発性有機化合物分析用) |                       |

(注) 分析結果報告の方法(ホームページ、用紙)を○で囲んでいない場合は、ホームページによる報告として取扱いますので、ご了承ください。

一般財団法人日本環境衛生センター 殿

平成29年度環境測定分析統一精度管理調査への参加を申し込みます。

平成29年 月 日

機関名

印